

平成27年11月25日

香美市長 法光院 晶一様

香美市まちづくり委員会  
会長 公文久郎

## 第2次香美市振興計画に関する提言書

土佐山田町、香北町、物部町  
それぞれが育んできた地域の魅力を掘り起こし、  
そこに住まう人々の誇りや課題を  
互いが共有し合える機会となるワークショップを重ねました。  
委員一人ひとりの立場から生まれた、

**「こんな香美市で暮らしたい」**

という思いを第2次香美市振興計画についての提言としてまとめました。



## 新しい人とともに豊かな暮らしが育めるまち

香美市は、近い将来に発生する南海トラフ地震による津波の心配もない土地だという強みを持ち、土佐山田地区は地価が安定しているなど、近年注目を浴びています。国道195号線（あけぼの街道）の整備が進み県都高知市へのアクセスが向上、陸の玄関口「JR土佐山田駅」があり、空の玄関口「高知龍馬空港」や高知自動車道「南国インター」にも近いという地の利があります。香美市民にとって住み続けたい場所として磨き上げていくとともに、移住を希望する人々に「魅力的なところだ」と選ばれる市になるための取り組みを提案します。また、中山間地域における高齢化や人口減への対策として「集落活動センター」の取り組みも、今後地域の健康・福祉をより豊かなものにするために検討してみる必要がありそうです。

- (1) 土佐山田駅に橋上通路を設け、駅を利用する北側住民の利便性を高める
- (2) 土佐山田駅の愛称に「アンパンマン駅」を使用し、観光客の誘致増につなげる
- (3) 空き店舗や空き家・空き地の情報を発信し、活用希望者に支援策を講ずる
- (4) 移住者が借りやすい賃貸住宅を増やす
- (5) 移住者が家を手ししやすい方策として、市街化調整区域の一部緩和を行う
- (6) 図書館や文化ホールなどの文化施設充実のため、既設施設の転用や改修・改築を行う
- (7) 香美市内の県道・市道の1.5車線の整備を行い、中山間地域住民の利便性を高める

## みどりを活かし、みどりを伝え、みどりに親しむ

香美市の87.4%を占める森林の活用は、振興計画のキーポイントです。しかし、依然林業を取り巻く環境は厳しく後継者問題や鳥獣被害など悩ましい問題が山積の状況です。また、香美市を貫く物部川の環境保全には上流域の治山治水が重要です。山を守り育て、自然を知り、山の資源を活用する取り組みがますます必要とされます。若い人を惹きつける魅力ある林業を育てるとともに、山への関心を高め香美市全体の環境保全意識の向上にもつなげる取り組みを提案します。

### 【活かす】

- (1) 地籍調査を促進するとともに、自伐型林業家を目指す移住者の受け入れ体制を整える
- (2) 自伐型林業家の育成や森林NPOの立ち上げを助成する
- (3) 里山保全のための伐採や草刈りなどへの補助金制度を強化する
- (4) 食用肉や皮など、鹿や猪を有効利用するための流通経路などを構築する
- (5) 木質バイオマスや小水力発電など、CO<sub>2</sub>削減に寄与する自然を活かした取り組みをすすめる
- (6) 空き農地をレンタル農地などに整備し、付帯設備を設けて利便性を高め、利用情報の発信を行う

### 【知る・伝える】

- (1) 林業従事者の後継者育成のため、山の役割を「知る・伝える」ための情報発信を拡充するとともに、自然を大切にする教育を進める
- (2) 野生植物の食用化、山や川での遊び方を教える自然を知る教室を開催する
- (3) 香美市の山・川・自然ガイドブックを作成し、学校や自然愛好家に配布する
- (4) 香美市主催で森林について語り合う全国規模の会議を開催する

**【親しむ】**

- (1) 中山間地域の活性化の一環として、全日本草刈り選手権の開催や自然に親しむアスレチックやドッグランなど遊び場を設置する
- (2) 物部川の土手や道路沿道に早咲き桜を植樹し、早咲き日本一の名所にする
- (3) プライベートな庭先からパブリックな公道部分へ、花いっぱい運動を広げ、庭園都市（ガーデンシティ）を目指す
- (4) べふ峡温泉の上の中尾地区に、芝桜やツツジを植樹し、雪遊びなど四季折々に楽しめる公園をつくる
- (5) 自然を活かした、気楽に親しめるトレッキングコースやマウンテンバイクコースを開発する

## 「ここが好きながよ」と

### 笑顔で暮らし続けられる地域に

3町それぞれに趣の異なる自然に恵まれ、健康な暮らしを実現できる香美市。しかし子育て世代の核家族化が進み高齢者の独居も増え、多世代が支え合う環境が減ってきています。「ひと」が集う場をつくり、こどもから高齢者まで「ひと」のつながりを築くことで、安心して住み続けられる地域を実現したいと考えました。

#### 【産み育てる】

- (1) 早朝・夜間・病児保育の充実で働く世代が住み良い環境づくりを整備する
- (2) 子どもたちが安心して過ごせる場所を整備する
- (3) 「子どもたちを見守る見守り隊」を組織し、市全体で育てられる環境を整備する
- (4) 子どもの通学バス料金の無料化を実現する
- (5) 親にとって経済的負担の少ない学童保育を実現する
- (6) 夜間・休日の病児相談窓口を設置する

#### 【高齢者】

- (1) 高齢者たちの「やりたいこと」を活かすしくみづくりを構築し、枠にはまったサービ  
スではなく、個人の「これがしたい」を明確にして取り入れた取り組みを行う
- (2) 様々なライフスタイルに合わせ、集まって安心して過ごせる場を整備する
- (3) 体を動かして健康寿命を高められる場をつくる
- (4) 子どもたちが高齢者とふれあう機会の一つとして、夏休み期間中に高校生の介護福祉  
現場体験研修を実施する

#### 【多様なつながり】

- (1) お年寄りから子どもまでが楽しく交流できる場（サロン）をつくる
- (2) 「こども民生委員」を設置し、こどもが地域での「気づき役」になる

- (3) 学校や商店街の一角にボランティアなど誰もが集まれる相談窓口機能を持つ場所を整備する
- (4) 安心して世代間交流ができ、障害があっても自立でき、つながりが育めるバリアフリーな場を整備する

## 資源の足し算で独自の観光商品開発

独特の風土によって形成された伝統や文化の資源に恵まれているにもかかわらず、情報発信力の不足もあってその魅力が十分に生かされているとはいえません。一次産業の特性も絡めた香美市ならではの「特産物」や「体験型観光」を考えることで、中山間地から市街地まで点在する資源がつながり、新たな発信によるにぎわいが期待できると考えます。

### 【物部】

- (1) 日本一の玉出し出荷量を誇る物部の柚子がブランド力を高められるよう、市がバックアップできる体制を持つ
- (2) シカ、イノシシの解体場を作り、ジビエ肉・皮革・鹿角・ラードなど、まるごと有効活用できるようにする

### 【香北】

- (1) 美良布の道の駅を充実させて観光協会支部的要素を持たせる
- (2) アンパンマンをもっと積極的に活用した観光メニューを開発する
- (3) 「ジャムおじさんのパン工場」を開設しパン作りなどの体験ツアーに結びつける

### 【土佐山田】

- (1) 「体験日曜市」や「大学生出店」など日曜市の活性化策を検討し、スーパーでは買えない品揃えなどで、わざわざ行きたい日曜市に育てる
- (2) 刃物職人の育成に力を入れ、刃物の街を伝承していく取り組みをすすめる
- (3) 空き店舗を活用するなど、商店街で毎週フリーマーケットを開催する

### 【全域】

- (1) 山・川で遊べるグリーンツーリズムをすすめるために、サイクリング道やマウンテンバイクで走れるコースを整備し、自転車でめぐる観光を充実させる
- (2) 外国人対応のため多言語での案内をすすめる

- (3) 香美市内にたくさんいるハンドメイド作家のネットワーク化をはかり、販売施設の整備をおこなう
- (4) 「香美市パスポート」の発行により、全域を結んだ観光を構築する
- (5) リゾートの・民宿的など特徴のある魅力的な宿泊施設を誘致する
- (6) 人を集めるため・呼ぶために、人数の入る文化ホールを持つ
- (7) 物部の柚子から山田の打刃物までなんでも揃う「香美市物産館」を設置する

#### 【ツアー商品の開発】

- (1) 柚子採り体験ができる観光ゆず園を整備する
- (2) 大人が懐かしみながら楽しめるアンパンマンツアーを開発する
- (3) 自転車めぐる「ものがわカフェチャリ」のようなプログラムを増やす
- (4) 土佐打ち刃物、フラフ、酒蔵など香美市伝統産業をめぐる「大人も楽しめる社会見学観光コース」を開発する

## 地域がよってたかって育てる香美市の教育

幼・保・小・中・高・大、全てが揃う香美市だからこそ、呼吸を合わせた連携プレーに期待します。さらに学校・家庭・地域などが「よってたかって」様々な学びを次世代に伝え、未来を担う人材の育成にもつなげましょう。ふるさとへの誇りを持って育つ環境を整え、地元の良さを語れる子どもが育つ香美市にしてください!

- (1) 学園都市であることと豊かな資源があることを活かして、子どもたちが香美市の文化や伝統産業、人と触れ合える「香美っこタウン（仮）」を開催する
- (2) 旧大栃高校を活用して物部の自然を取り入れた山村留学制度を導入する
- (3) 共働き世帯が安心して子育てできる環境を整備し、その内容が伝わるような情報発信に取り組む
- (4) 定年になった人が子どもたちに関われるしくみを構築する
- (5) 交換留学など、香美市の子どもたちがグローバルな視点を育てられる制度を拡充する
- (6) 生涯学習・社会学習の拠点として文化ホールを建設する
- (7) コミュニティスクールの拡充をはかる
- (8) 全小中学生の通学定期の無料化に取り組む
- (9) 落ち着いてゆとりの時を過ごせるようなカフェ的要素を持つ図書館を作る

## 協働できるまちづくりの推進

香美市で暮らす楽しさを実感し、さらにつながりを深め協働のまちづくりにつなげていくためにも、みんなが一緒にできる取り組みを増やしていきましょう。

- (1) 地域の方とみんなで食事をする会が開けるような場所と仕組みをつくる
- (2) アンパンマンを活かしたまちづくりを推進する
- (3) 香美市全体の情報をコーディネートし、発信していく機能を持つ
- (4) 「3町対抗香美市民運動会！」を開催する
- (5) 行政と住民が協働でチェックし合える関係・しくみをつくり、香美市振興計画づくりの経過報告や検討の機会を持つ
- (6) 市の広報誌を振興計画の章立てに合わせた構成にする